活動報告【気づきの事例検討会推進部会より】



気づきの事例検討会

令和6年11月22日に「総合在宅ｹｱｾﾝﾀｰかんの会議室」にて「気づきの事例検討会」を開催しました。前回の勉強会をもとに、実際の事例を用いて検討会を実践しました。稲松真人先生(兵庫県対人援助研究所)の進行により今後のケアマネジメントに活かせる「気づき」を学ぶことができました。推進部会では、事例検討会を随時開催しておりますので、スキルアップをしたい方は是非ともご参加ください。

委員会・部会のご紹介(令和6年度)

- 気づきの事例検討会 推進部会
- 医療介護連携委員会
- 広報委員会
- 会員交流委員会
- 防災対策委員会
- 薬剤師会・歯科医師会 連携委員会
- 事業所連携委員会

加古川支部では専門職としての役割を果たすため、様々な活動をしています。
皆さんの力で一緒に盛り上げていきましょう!!

【こんな活動もしています】

- ○基礎研修、気づきの事例検討会の開催、振り返りの企画・運営を行っています。
- ○職能団体として社会に対する責任を果たすため、行政・各関係機関との会議において現場での課題を提起しています。
- ○播磨町の自立支援型地域ケア会議に主任介護支援専門員の立場で助言者として参加しています。
- ○東播認知症教室に専門スタッフとして参加しています。

兵庫県介護支援専門員協会　加古川支部　事務局
TEL　079-492-7601　FAX　079-492-7605　✉jim@care-mhs.net

新規会員募集中!!

【編集後記】

今号は、数多くの研修報告および紹介を中心に編集いたしました。
この広報誌が、会員の皆様との架け橋になれば幸いです。　　広報委員会



兵庫県介護支援専門員協会　加古川支部

加古川支部便り

令和7年2月発行　vol.5

支部長からのあいさつ

皆様、日頃は当支部活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。井上前支部長から引き継ぎ、2年目になりますが、まだまだ掴めないことも多く、試行錯誤しています。今年度は「気づきの事例検討会」を引き続き推進したく「部会」として活動を継続いたしました。また、連携強化のため加古川市との打ち合わせも行いました。「継続的な協力関係の構築」を目に見える形で残すことができたらと考えています。今後とも皆様の支部活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



兵庫県介護支援専門員協会　加古川支部長　花田原樹(介護相談室あえる)

支部長日誌

支部長としての活動は、外部機関との連携のため会議や打ち合わせへの出務が多くあります。医師会や歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション連絡会、加古川中央市民病院等そして加古川市、播磨町、稲美町との行政関係の会議へ出席しております。その他各関係機関等の会議への出席など、様々ですので、理事の皆様のお力も借りながら、何とか活動を行えています。

私自身、株式会社ALCの代表をしており「あえる」という屋号で居宅や訪問、デイサービスや福祉用具、介護リフォーム、サービス付高齢者住宅の運営等を行っております。私が創業で、まだ15年目の会社です。私は現状、フルにケアマネジャーとして活動しておりませんので、ケアマネジャーとして未熟な部分は他の理事の皆様のお知恵を借りながら、何とか支部長として活動を行えています。

加古川支部の皆様が少しでも「支部に入って良かった」と思えるよう、今後も活動していきたいと思います。これからもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

活動報告① 「気づきの事例検討会推進部会」より

令和6年度 公開事例検討会

令和7年1月24日

浜の宮松竹園 地域交流室にて

稲松真人先生(兵庫県対人援助研究所)のミニ講座のあと、支部で毎年恒例の事例検討会が開催され、20名が参加しました。提供された事例を再アセスメントして分析し、じっくりと検討することで「気づき」を養いました。今後の業務に役立つ情報が満載でした。



メモ チェックポイントおすそわけ

●本検討会は事例の解決策を探る場ではなくｹｱﾏﾈｼﾞｬｰの実践力を高めることを目的とした「グループスーパービジョン」形式で行われ、事例を通して自らの考え方を深めることを重視する。
●提供者への質問を通して事例を深掘りして、社会資源や支援体制を再確認して今後のケアマネジメントに活かす。

活動報告② 支部研修開催担当者、災害対策委員会より

「兵庫県介護支援専門員協会加古川支部研修」

令和7年2月7日

加古川市民会館大会議室にて

県協会の災害対策委員会が講師となり「BCP作成後、どのように災害に備えるのか」をテーマに、平常時の備えや机上訓練を行い43名が学びを深めました。災害時にBCPが効果的に活用できるよう確認ができ、今後に繋がる研修になりました。





メモ チェックポイントおすそわけ

●BCPは災害や流行が起こる前の段階が最重要で、災害時を想定して何が必要かをイメージしながら備えていく。
●業務を継続するためには、業務に優先順位をつけて継続する。経営資源の中で「情報」が超重要。日ごろから事業所等との情報共有の手段を検討しておく。

活動報告③ 「薬剤師会・歯科医師会連携委員会」より

「始めよう口からの健康づくり」

令和6年10月26日

ウェルネージホールにて

歯科医師会、歯科衛生士会の皆さんとの合同研修会を開催し62名が参加しました。口腔機能低下の仕組み、加算の概要、ケアの実践方法など、盛りだくさんの内容でした。日頃から口腔ケアを習慣づける大切さが再認識できました。



メモ チェックポイントおすそわけ

口腔機能の低下とリハビリや介護保険改正について、大和大学：中尾雄太先生、歯科衛生士：増田ケアマネが登壇。歯科衛生士・看護師・リハビリ職・ケアマネジャー等複数の多職種が集まり登壇している講師の方たちとの交流やディスカッションができ口腔内の清潔保持やリハビリの大切さを学ぶ有意義な研修となりました。

活動報告④ 「薬剤師会・歯科医師会連携委員会」より

第1回 多職種連携研修会

令和6年11月21日

ウェルネージホールにて

播磨薬剤師会、2市2町訪問看護ステーション共催による連携研修に30名のケアマネジャーが参加しました。在宅医療、服薬管理等について、ケアマネジャー・薬剤師・訪問看護師それぞれの視点から積極的に意見交換を行い、今後の連携につながる研修になりました。



メモ チェックポイントおすそわけ

昨年に引き続き播磨薬剤師会との多職種連携研修会開催。在宅医療介護連携やケアマネジャーや訪問看護・薬剤師の業務など各職種より登壇頂き概要の説明、その後のグループディスカッションで名刺交換や見える関係性づくりを行うことができ、実りある研修となりました。